



株式会社UKCホールディングス

2017年(平成29年)3月期 第1四半期決算説明資料

2016年8月12日



株式会社 UKCホールディングス





2017年3月期 第1四半期決算(連結)概況

事業セグメント	4
2017年3月期 第1四半期 ハイライト	5
2017年3月期 第1四半期 半導体及び電子部品事業	6
2017年3月期 第1四半期 電子機器事業	7
2017年3月期 第1四半期 システム機器事業	8
2017年3月期 第1四半期 財政状態(バランスシート)	9



2017年3月期 第1四半期決算(連結)概況

事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品	主要顧客／市場
半導体及び 電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、パワー、 その他半導体	エレクトロニクスメーカー
	電子部品	液晶パネル、タッチパネル、バッテリー、光学ピックアップ、 ACF、基板、複合部品、その他一般電子部品	
	EMS	電子機器受託製造サービス (Electronic Manufacturing Service)	
	その他	LED照明、太陽光パネル DDS(Dust Detection System)事業※	店舗、工場、オフィス、 メガソーラー
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、音響映像関連機器、ビデオプリンター	放送局、プロダクション、 一般企業、教育機関、 医療機関、半導体製造 装置メーカー、システム インテグレータ
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク	
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、 セキュリティ関連製品	
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア	
システム機器 事業	産業電子機器及び 伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa, NFC)R/Wモジュール、電子決済端末、 出入管理端末	電子決済市場、 デジタルサイネージ市場、 PC・タブレットメーカー
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務	半導体・部品メーカー、 太陽電池メーカー

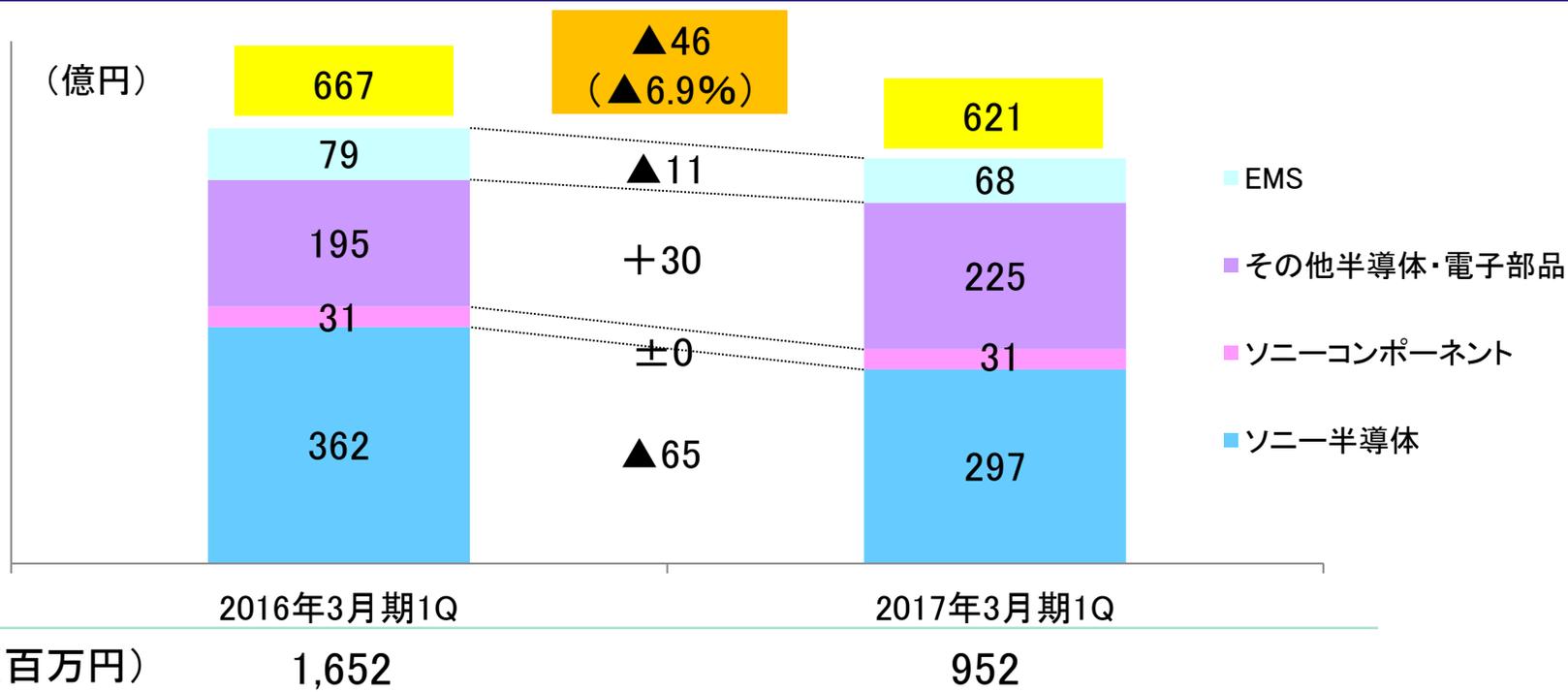
※太陽光発電における太陽光パネル表面上の汚れや温度上昇等に起因する発電効率の劣化を測定するセンサーを内蔵する機器の
開発・設計・製造・販売事業と発電効率に関するデータ提供を行うサービス事業からなる

2017年3月期 第1四半期 ハイライト

(単位:百万円)	2016年3月期 第1Q		2017年3月期 第1Q		第1Q進捗率		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	2Q累計予想 (5/10公表)	進捗率	増減金額	増減率
売上高	69,889	100.0%	65,117	100.0%	144,000	45.2%	▲4,772	▲6.8%
売上総利益	4,333	6.2%	3,357	5.2%	8,900	37.7%	▲976	▲22.5%
SGA	2,898	4.1%	2,641	4.1%	5,900	44.8%	▲257	▲8.9%
営業利益	1,434	2.1%	715	1.1%	3,000	23.8%	▲718	▲50.1%
経常利益	1,535	2.2%	233	0.4%	2,900	8.0%	▲1,302	▲84.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,147	1.6%	163	0.3%	2,000	8.2%	▲983	▲85.7%
EPS(円)	73.09		10.43		127.41			

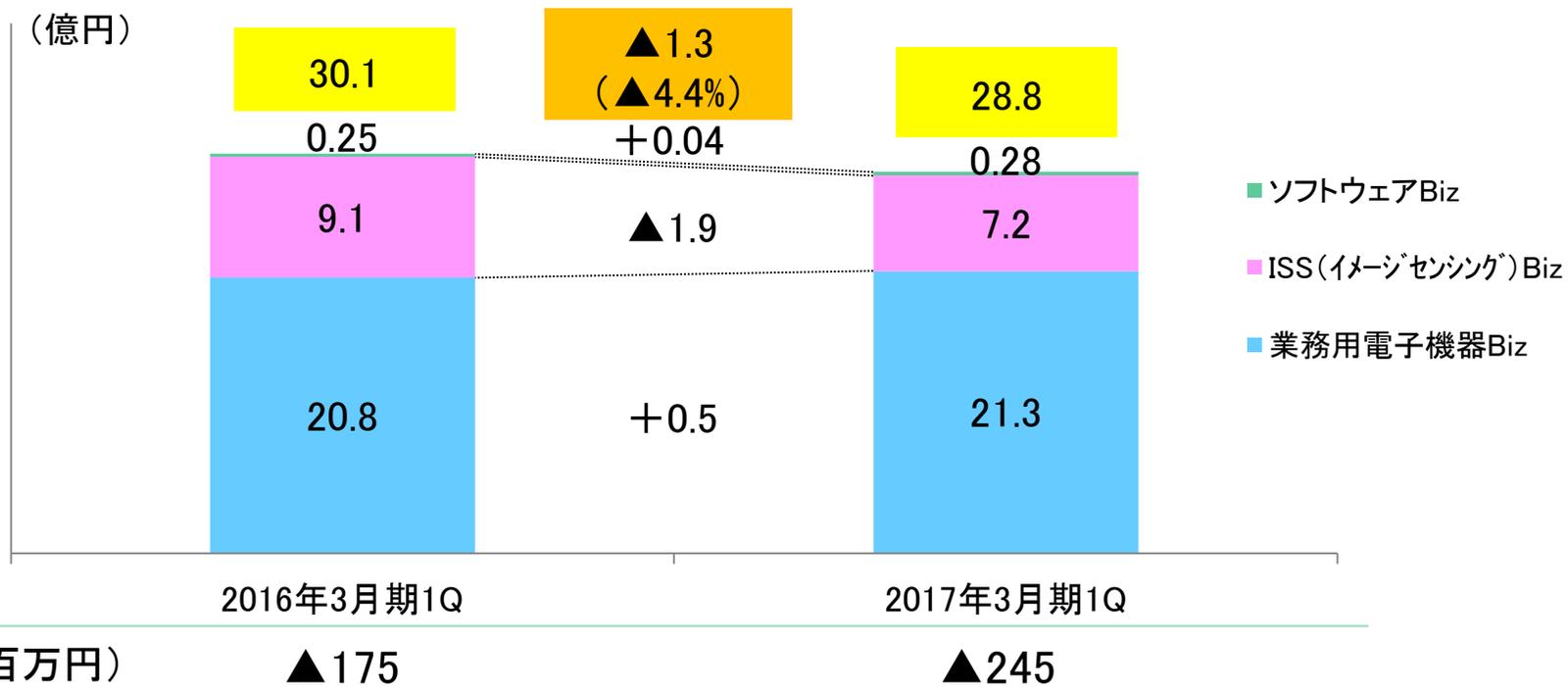
- 売上高:前年同期比▲47.7億円(▲6.8%) 円高に加え、熊本地震の影響もあり前年同期比減
- 売上総利益:前年同期比▲9.8億円(売上総利益率▲1.0%)
円安時に仕入れた海外製品の販売及び円仕入ドル売り製品の販売に伴う原価率の悪化により大きく減少
- 営業利益:前年同期比▲7.2億円(▲50.1%)
SGAは2.6億円減となったものの、売上総利益の減少に伴い前年同期比大幅減
- 経常利益:前年同期比▲13.0億円(▲84.8%)
急激な円高傾向に伴う為替差損の拡大(前年同期 116百万円差益⇒402百万円差損)もあり前年同期比大幅減
- 親会社株主に帰属する当期純利益:前年同期比▲9.8億円(▲85.7%)
- 第2四半期以降は利益率の改善を見込んでいるため、平成29年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を据え置くが、今後の事業環境の精査結果や業績の推移に応じて修正の必要が生じた場合には、速やかに公表予定

2017年3月期 第1四半期 半導体及び電子部品事業



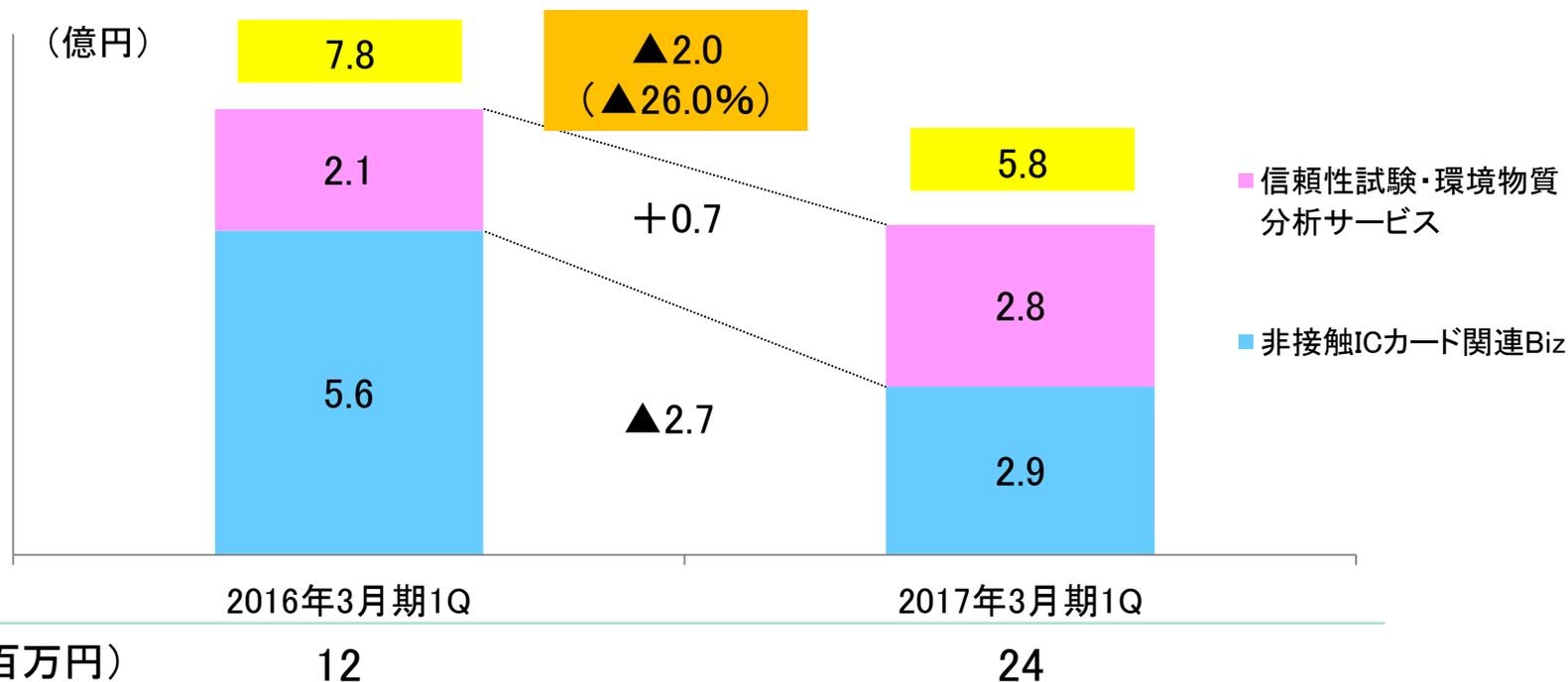
- ソニー半導体:円高の影響に加えて、熊本地震の影響による一部製品の販売機会損失もあり、減収
- その他半導体・電子部品:産機向け製品、スマホ向け指紋センサー等の売上が伸長
- EMS:中国自社工場(液晶モジュール基板実装)は引き続き堅調に推移も、前年同期は撤退したファブレスEMSの売上が5億円あったことに加え、円高の影響もあり、前年同期比減収。ベトナム工場の寄与は第2四半期より
- セグメント利益は、円安時に仕入れた海外製品の販売及び円仕入ドル売り製品の販売に伴う原価率の悪化により大きく減少

2017年3月期 第1四半期 電子機器事業



- 業務用電子機器ビジネス
オリンピックを控えた放送関連ビジネス等が好調
- イメージセンシングビジネス
熊本地震の影響による一部製品の調達難もあり減収
- 減収により、セグメント損失は前年同期比 70百万円悪化

2017年3月期 第1四半期 システム機器事業



➤ 非接触ICカード関連ビジネス

電子マネー関連ビジネスの商談は引き続き活況に推移しているものの、一部顧客の需要が第2四半期に集中することにより減収

➤ 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス

車載やパワー系の受注が増加

➤ 利益率の改善により、セグメント利益は増加

2017年3月期 第1四半期 財政状態(バランスシート)



(単位:百万円)	16/3月末	16/6月末
現預金	22,705	21,292
売上債権*	72,225	71,235
棚卸資産	18,942	18,841
その他	5,454	8,010
流動資産計	119,328	119,380
固定資産計	7,079	6,925
総資産	126,408	126,305
仕入債務	34,945	36,480
短期借入金	22,522	23,932
1年内返済長期借入金	2,825	3,579
その他	3,876	2,607
流動負債計	64,169	66,599
長期借入金	3,635	2,440
その他	874	881
固定負債計	4,509	3,321
純資産	57,728	56,384
自己資本比率	45.3%	44.4%
BPS(円)	3,651.57	3,569.88

※電子記録債権含む

	前期末比	主な増減要因
総資産	▲ 102	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金 ▲1,413百万円 ・売上債権 ▲989百万円 ・投資有価証券 ▲451百万円 ・その他流動資産 +2,556百万円
負債	+1,241	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入金 ▲1,194百万円 ・未払法人税等 ▲574百万円 ・1年内返済予定長期借入金 +754百万円 ・短期借入金 +1,409百万円 ・仕入債務 +1,534百万円
純資産	▲1,343	<ul style="list-style-type: none"> ・親会社株主に帰属する四半期純利益 163百万円 ・利益剰余金からの配当 ▲392百万円 ・その他の包括利益累計額変動 ▲1,036百万円
自己資本比率	▲1.0%	主に為替換算調整勘定の減少に伴う純資産の減少により減少





株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: ir@ukcgroup.com

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。